

令和元年度 酒田地区フットサル（室内サッカー）大会 4種の部 実施要項

1. 主催 酒田地区サッカー協会
2. 主管 酒田地区サッカー協会4種委員会
3. 期 日 令和2年2月22日(土)～23日(日) 予選及び決勝
4. 会 場 酒田市国体記念体育館(大アリーナ/3面)
5. 大会形式 「高学年の部(U12)」・「低学年の部(U10/U8)」・「スポ少ママの部」の4部門とする。
6. 参加料 2,000円(※1チーム/全部門共通)
7. 参加資格
 - ①「参加チーム」は(公財)日本サッカー協会4種登録し単一チームで構成されていること。但し「低学年の部」においては、この限りでない。また「スポ少ママの部」については、上記録チーム所属選手の保護者で構成されたチームとする。
 - ②上記録チームより、各部門において複数チームの参加を認める。
 - ③全部門において、出場選手はスポーツ傷害保険等に加入していること。
8. 競技規定 (公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、競技規則に関する酒田地区サッカー協会4種運営部門統一確認事項(別紙)及び以下の項目は、本大会規定として定める。
 - ①コート大きさは原則として34m×17m。センターサークル半径2.5m、ペナルティエリア1/4円ラインの半径5m、ペナルティキックマーク5m
 - ②競技者の数は、選手エントリー20名以内とし、ベンチにはエントリー選手の他3名とし、ベンチサイドでの応援は禁止とする。
 - ③試合中に不慮の事故等で選手が3名以下になった場合は試合中止(棄権/0-3)とする。
 - ④競技者のシューズは、靴底の接地面は紺色又は、白色のフットサル用シューズを使用可能とする。(スパイクシューズおよび、上記指定色以外の着色されたものは使用できない。)
 - ⑤試合球は3号球フットサル用ボールを使用する。各チーム対戦時に持ち寄るものとする。
 - ⑥審判員は各チーム帯同審判員(有資格者)制とし、主審、第2審判にて実施する。今大会においては、第3審判及びタイムキーパー、オフィシャルは配置しない。
 - ⑦ベンチは、ベンチ側からコートに向かって左側が若い番号とする。ハーフタイム時にベンチ交換する。
9. 警告・退場
 - ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されるまで試合を停止する。
 - ②本大会で退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場停止とする。
 - ③本大会の異なる試合において、警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。累積の警告は本大会決勝日程に持ち越すものとする。
 - ④その他詳細については規律委員会において審議し、当該チームに決定事項を通告する。
10. 競技者のユニフォーム
 - ①(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に従った正副ユニフォームを用意すること。
 - ②フィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合は、セカンドユニフォームかゴールキーパーのセカンドユニフォームを着用すること。(※上着で可とするがビブスは不可)
 - ③「高学年の部」及び「低学年の部」の予選日程時においては、複数エントリーを考慮しビブスでも可とする。また「スポ少ママの部」においては、上記「ユニフォーム規定」の限りでないものとする。
11. 競技方法
 - ①各部門とも、参加チームを複数ブロックに分け、各ブロックごとに予選リーグ戦を行う。
 - ②予選リーグ各ブロックの第1位及び第2位で決勝トーナメント戦を行う。(U12・U10)但し「低学年の部(U8)」 「スポ少ママの部」においては、予選リーグ各ブロック第1位で決勝リーグ戦を行う。
 - ③各部門とも試合時間は、予選リーグ、決勝トーナメント及び決勝リーグともにランニングタイム14分とし、ハーフタイムのインターバルは2分間とする。
 - ④リーグ戦のブロック順位決定は次による。
勝点(勝=3、敗=0、引分=1)・得失点差・総得点差・当該チーム勝者の順とし、それでも決しない場合はPK方式で決定する。ただし、4チームブロックにおいて、総当たり戦を実施しない場合で勝点が同じになった場合は、得失点差の前に当該対戦チーム勝者を優先する。また、当該ブロックにおいて、3チーム以上が全て同じ成績になった場合は、巴戦でのPK戦とし続けて2勝したチームが勝ち抜けるものとする。
 - ⑤トーナメント戦において勝敗が決しない場合はPK方式(3人/4人制ドデス)で決定する。
12. 表彰 「高学年の部」及び「低学年の部(U10)」は上位4チームとする。また「低学年の部(U8)」及び「スポ少ママの部」については上位3チームとする。(優勝・準優勝・第3位)
13. その他
 - ①本大会の実施に関し、要項に定めのない事項や、本大会参加中、試合中に限らず、選手に対する著しい言動や行動があった場合は、本部にて事実確認し何らかの処分対象とする。
 - ②大会におけるケガや事故等の責任は各チームに帰するものとする。
 - ③帯同審判制で行いますので各チーム帯同審判の準備(有資格者)をお願いします。監督会議(代表者ミーティング等)で競技規則確認を行いますので帯同審判担当者は必ず出席のこと。
 - ④大会会場の使用にあたっては、マナー等の遵守及び使用上の注意(別紙)等を厳守ください。